

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

保健医療福祉センター事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 (仮称)保健医療福祉センターの施設機能の見直しを図るため。

効果 (仮称)保健医療福祉センター基本構想の見直し

【事業の内容】

(1) 保健医療福祉センター事業

- ・現在の保健・医療・福祉の環境は、新たな社会需要への対応を含め制度の改変があり、社会の動向と需要の変化を踏まえて、施設機能の検討は不可欠と考えられる。センターの基本構想見直しを行うため、鎌倉市保健医療対策審議会を再開した。
- ・審議会委員4名を構成員とし、センターのコンセプト及び機能見直しの叩き台を作成するため、専門部会を設置し、検討した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

(仮称)保健医療福祉センターの機能見直しと建設準備(4-1-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

| 当初予算額 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|-------|-------|-------|--------|-------|
| 4,415 | 4,415 | 2,134 | | 2,281 |

主な支出内訳

・保健医療福祉センター事業

鎌倉市保健医療対策審議会委員報酬 8人

150

専門委員謝礼

146

基本構想策定委託料

1,838

平成21年度事務事業評価シート

| | | |
|---------------|--------------------------|---|
| 創意・工夫・課題等改善状況 | 課題・問題点 | (20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 保健医療対策審議会を再開するにあたり、限られた審議会の開催回数の中で(仮称)鎌倉市保健医療福祉センターの施設機能等の見直しを行い、センター建設の方向性をどう見極めていくのが課題。 |
| | 創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果 | (課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・(仮称)鎌倉市保健医療福祉センターの機能を検討するため、保健医療対策審議会を6月に再開し、2回の会議を行った。 ・機能検討庁内連絡協議会(11月に幹事会へ改編)で、先進都市(平塚市、横須賀市)視察を行った。 ・審議会委員4名を構成員とし、(仮称)鎌倉市保健医療福祉センターの機能を検討するためのコンセプト及び叩き台を作成するため専門部会を設置し、4回の会議を開催した。 |
| | 未解決の課題・問題点 | (20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・センター建設の前提となる面的条件の一つである深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業の進捗状況を注視する必要がある。 |
| | 今後の方針(対応・改善) | (上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 鎌倉市保健医療対策審議会を運営し、他の市関連計画や関連課、関係機関の動向に注視し、連携しながら、平成22年6月提言に向けて準備していく。 |

一次評価(課長評価)

| | | | | | |
|---------|---|----------------------|--------|---|-------------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 | C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 | E:事業完了 | A | 改善の必要性 有 |
| | 専門部会の審議内容をもとにして、鎌倉市保健医療対策審議会において(仮称)鎌倉市保健医療福祉センター建設の方針について課題を整理し平成22年6月の提言に向けての、方針を検討・審議していく。 | | | | |
| 担当課長氏名: | | 市民健康課長 相川 誉夫 | | | |

二次評価(部長評価)

| | | | | | |
|--------|--|----------------------|--------|---|-------------|
| 今後の方向性 | A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 | C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 | E:事業完了 | A | 改善の必要性 有 |
| | 関係課及び関連機関等と十分に調整し、センター機能の課題等について検討する必要がある。 | | | | |
| 担当部名 | 健康福祉部 | 部長名 | 石井 和子 | | |